

防災

平成30年9月1日

No. 152

消防署訓子府支署
訓子府消防団
危安協訓子府部会



9月1日は

防災の日



防災の日は、災害についての認識を深めそれらの災害に対処する心構えを準備するために昭和35年に制定されました。

9月1日という日付は今から95年前、1923年9月1日に関東大震災が発生し、大きな被害をもたらしたこと、8月から9月にかけて台風の接近、上陸が多いことに起因します。

この時期は災害の発生が多いため、万が一の事態について考える時期といえるでしょう。



(東京都千代田区一ツ橋一丁目1 被災後の旧文部省)

全国標語	忘れてない? サイフにスマホに 火の確認	組合標語	消したはず 油断の心が 火事のもと
------	----------------------	------	-------------------

【火事・救急・救助は 局番なし『119番』】



自助、共助、公助とは？



大規模災害では行政機関の機能を超える被害が発生することがあります。災害発生時にできる限り被害を減らすためには自助、共助、公助が適切に動くことが重要となり、どれか一つがあればよい、というわけではなく、全てが必要となります。

「自助」～自ら取り組む

自助とは、自分自身や家族の命、財産を守るために自身で防災に取り組むことです。災害が発生したときはまず自分が無事であることが大切です。



「共助」～地域で、みんなで協力して取り組む



共助とは、近所や地域の人と助け合うことです。また、災害時に円滑に助け合いができるように日頃から地域の助け合いについて備えることです。

「公助」～行政、公的機関が取り組む

公助とは、消防、役場、自衛隊等の公的機関による支援のことです。災害時の人命救助、復興等を担います。



救急講習会を開催します

○開催日 9月10日(月)

○定員 20名

○時間 18時～21時

○その他 費用はかかりません。
動きやすい服装、汗拭きタオル、飲み物持参で参加してください。

○申込先 訓子府消防
(47-2419)